

尾崎一夫先生の思い出(2) 永野正和

※今後、数回にわたって、HCJB の番組制作や放送運営に関わってくださった方の中から、尾崎一夫先生の思い出を語っていただきます。第二回はリスナーの永野正和さんです。

尾崎先生にお目にかかれなくなって初めてのクリスマスとお正月です。

最初に HCJB 日本語放送を受信したのは 1974 年、中学生の頃です。

ベリカードを調べますと一番古いものには 1974 年 6 月 19 日と記されています。

この頃のやり取りは、航空郵便でした。古い航空郵便を見ますと久子先生がお便りを書いてくださっています。

今使っているパソコンのメールフォルダを見ますと、尾崎先生から 1930 通の email をいただいています。

その中で一番古いものは、2003 年 4 月 26 日で、HCJB 日本語放送で行われたテスト放送の受信報告に対するお礼でした。

その後、2006 年 6 月 3 日に再スタートした HCJB 日本語放送の受信報告のやり取りや、この再放送のため事前に行った放送バンドと放送周波数のリサーチ、それから周辺チャンネルの他局の放送状況や、混信の可能性の調査のやり取りが懐かしいです。

そして、ついに再び HCJB の日本語放送が始まりました。

感無量で放送を聞いていたのが、この前のことのように。

記念すべき第一号のベリカードは大切にっています。

放送がスタートしてから毎週末の土曜日と日曜日の放送を聴き「クイックレポート」として尾崎先生に受信状況と番組の感想、それから近況などのやり取りをしておりました。

放送事故があった場合などはオーストラリア・クヌヌラ送信所のエンジニアと連絡を取り状況を尾崎先生に報告なども行いました。

それから帰国されるたびに、関西 HCJB リスナーの集いを京都で開催させていただき、尾崎先生が楽しそうにされていたのも今となっては良い思い出です。

本年 6 月 8 日に大阪堺の教会のお越しだということで、京都から出かけ、お目にかかりました。

いつものように「ながのさーん、久しぶり！げんきだった？」とお迎えいただき、楽しい時間を過ごしました。

自動車で駅に向かわれるお見送りの折、また来年お目にかかりましょうとお別れしたのが最後となってしまいました。本当に悲しいです。

毎週末にお送りしていた「クイックレポート」を受け取っていただける方はもうおられません。

天国に届けば良いのと思います。

今となってはもうお礼をお伝えすることもできません。

尾崎先生、長きにわたり HCJB の放送を届けてくださりありがとうございました。

そして、本当にお疲れさまでした。(以上)

土曜日の放送予定(尾崎一夫先生制作の番組、すべて再放送)		日曜日の放送予定	
1 月 3 日	マリンバの調べ・希望の言葉	1 月 4 日	峯野先生聖書メッセージ
1 月 10 日	南米ふれあいの旅	1 月 11 日	朗読 峯野龍弘著『愛一筋に』(3)
1 月 17 日	折り紙の詩(3)	1 月 18 日	BCL 新春対談
1 月 24 日	いよ子のサボテン日記	1 月 25 日	お便り交換の時間
1 月 31 日	思い出の Serenata コンサート		

放送時間：日本時間 午前 7 時半～8 時 17.650kHz (再放送) 午後 8 時～8 時 30 分 15.460kHz
(オーストラリア送信)

※放送内容は変更することもあります。